

学生の養護教諭の職務に関する認識の変化 —コーディネーション行動や能力の必要性と職務に対するイメージ—

鈴木 薫 (教育心理学科), 頼本千恵子 (岡山市立大宮小学校), 淵上克義 (岡山大学)

Changes in the Images and Understanding of the Function of *Yogo Teachers* : The Necessity of Coordinating Ability

Kaoru SUZUKI (Department of Educational Psychology)
Chieko YORIMOTO (Omiya - Elementary School of Okayama - city),
Katsuyoshi FUTIGAMI (Okayama University)

抄 録

養護教諭のコーディネーション行動や能力を形成するための基礎研究として、201X年の養護学概論I受講生を対象に、養護教諭の職務に関する認識と授業による変化を検討した。その結果、学生のこれまでの保健室利用状況や利用理由と養護教諭免許取得希望との間に大きな関連は見られなかった。また、支援される側として形成されたと思われる養護教諭のコーディネーション行動や能力に関する認識や職務のイメージは、授業により支援を行う立場として広がりが見られ、職として主体的にとらえ始めたと考えられる。今後は、授業においてこれらを具体的にしていく方法を検討し、養成教育に求められる養護教諭のプロトタイプに及ぼす影響について明らかにしていくことが必要である。

キーワード：学生，養護教諭，コーディネーション行動，イメージ，変化，